

(株)明治「5工場閉鎖」「高齢者切り捨て」の大リストラ

身勝手な「黒字リストラ」から雇用守る正念場の年

㈱明治は一昨年、5工場を閉鎖し来年までに集約2工場を新設すると発表し、現在その準備が進行しています。また昨年末は同社の幹部社員を対象にした希望退職を募集するなど大リストラが行われています。いずれも多くの社員を犠牲にするもので、くらし、雇用、権利をどう守るかが今年の大きな課題となっています。

50歳・15年以上

勤続の管理職・総合職が対象

昨年10月、明治HDは㈱明治に勤務する50歳以上・15年以上勤務した管理職と総合職の幹部社員を対象に早期退職を勧める「ネクストラキャリア特別支援」などとする人員整理のリストラを発表。50日間の募集期間で昨年末まで実施しました。これは会社が求める成果・行動を絶対評価する競争力に値しないものは退社せよ。その手助けをするとうものであり、追い出し支援策です。今年3月31日を退職日としており大詰めの時となっています。

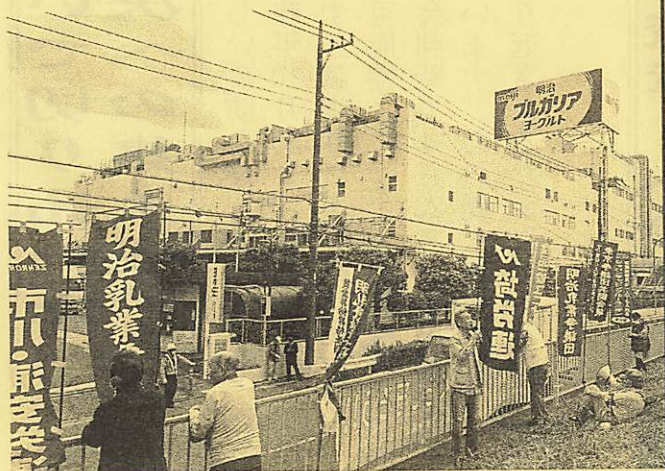
いま多くの大企業で実施されている株主利益が優先の「株主至上主義」による人件費減少で低迷株価を打開しようとするものです。明治は業績への影響判明後、速やかに開示と云います。早期発表をするべきです。

工場閉鎖による犠牲は一人たりとも許さない

一方、工場閉鎖は来年前半をめどに進められており、東北、戸田、神奈川、西春別、本別の各工場を閉鎖し大規模省人化工場を新設するものです。これに伴う雇用破壊や生活不安など大きな犠牲が強いられます。戸田市への要請では「企業からの雇用依頼があれば輪旋する」としています。会社は非正規社員一人ひとりの要望に基づき工場所在地の自治体と協力するなどして、希望者全員の雇用を果たすべきです。また、やむをえず退職せざるを得ない人たちには「慰労金」「退職金」等の支給をするべきです。今年は閉鎖から対象者を守る正念場の年になります。共に頑張りましょう。



明治HD社前にて緊急宣伝実施 2025年12月12日



(株)戸田工場前宣伝実施
工場閉鎖から雇用とくらしを守れ！2025年10月17日

40年もの人権争議は企業の重大リスク 明治よ！いまこそ大局的見地に立とう

**都労委残留39事件の闘いで切り拓いた
道筋を武器に全面解決への集大成**

都労委残留39事件の審査は会社との激しい攻防を経た上で、申立人らが求めた全事件の併合が確認され、昨年10月29日に全ての証人調べが終了しました。その後、進行に関する調査期日が2回行われる中で委員会から双方に、「和解解決の可能性」について意見聴取があり、その可能性の確認を前提に委員会判断で4月23日予定の調査期日が延期となり、8ヶ月が経過しています。この間、和解の可能性を確実にする立場での意見交換が繰り返されるなかに至っています。

**争議解決こそ「企業行動憲章」への道
オレたちは「人間でありたい」**

現在、世界のビジネス界は人権擁護に向けた取り組みが高揚し、国連「ビジネスと人権」の指導原則により日本の企業活動の在り方に、大きな改革が求められています。海外進出を当面の重点方針とする明治グループも国際的人権原則を守るとして「企業行動憲章」策定。社会への責任を果たすとしています。

さらに新社長は「過去を積極的に否定し将来に向け挑戦する」とも云います。歴代社長が黙した「負の遺産」である争議の解決を果たすことが、過去を否定した新生明治の第一歩ではないでしょうか。

いま私たち、申立人らと争議団が闘い求めているのは、単なる労働争議の枠を超えて「人権を返せ」「オレたちは人間でありたい」とする、人道上も放置できない壮大な闘いであり人生ドラマなのです。



第108次座り込み行動、大熊啓さんを招いてライブ（12月22日）

◆継続 座り込み行動日程

(株)明治 京橋エドグラン前

12時～13時

メトロ銀座線・京橋 7番

◎第110次 2月16日(月)

◎第111次 3月19日(木)

新年迎えスタートダッシュに

ご支援宜しくをお願いします。

明治乳業争議支援共闘会議 (03-5606-5285) 明治乳業争議団 (047-332-5698・FAX兼用)

E-mail : mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp

ホームページ 明治乳業争議団＝検索



ブログQR

No. 153